

特許請求の範囲

What is claimed is:

1. 被写体像を撮像して画像データを生成する撮像部と、

前記撮像部で生成された前記画像データに実質的なロスレス圧縮を施して圧縮

5 データを生成するロスレス圧縮部と、

前記圧縮データのデータ量が、予め定められた閾値を上回るか否かを判定する
圧縮判定部と、

前記圧縮判定部の判定により、前記圧縮データのデータ量が前記閾値を上回る
場合は、前記画像データを非圧縮で記録媒体に記録し、それ以外の場合は、前記

10 圧縮データを前記記録媒体に記録する記録部と

を備えた電子カメラ。

2. 請求項 1 に記載の電子カメラにおいて、

前記記録媒体の残容量または残コマ数を大小判定して前記残容量に余裕がある
か否かを判定する残容量判定部を備え、

15 前記記録部は、前記残容量判定部において前記記録媒体の前記残容量に余裕が
あると判定された場合、前記圧縮データのデータ量に係わらず、前記圧縮データ
を前記記録媒体に記録する

ことを特徴とする電子カメラ。

3. 請求項 1 に記載の電子カメラにおいて、

20 前記閾値は、前記画像データを非圧縮で記録する場合に必要なデータ量で
ある

ことを特徴とする電子カメラ。

4. 請求項 1 に記載の電子カメラにおいて、

前記記録媒体の残容量を前記閾値で割った商を残コマ数として求め、前記残コ

25 マ数に基づいて撮影続行可能か否かを判断する残コマ数管理部を備える

ことを特徴とする電子カメラ。

5. 請求項 4 に記載の電子カメラにおいて、

前記撮像部で生成される複数の前記画像データを一時記憶するバッファメモリ
を備え、

前記残コマ数管理部は、前記バッファメモリの残容量を前記画像データのデータ量で割った商を速写可能コマ数として求め、前記残コマ数と前記速写可能コマ数のいずれか少ない方に基づいて撮影続行可能か否かを判断する

ことを特徴とする電子カメラ。

2014.05.08 01:15:03

開示内容の要約

本発明の電子カメラは、被写体像を撮像して画像データを生成する撮像部と、この画像データに実質的なロスレス圧縮を施して圧縮データを生成するロスレス圧縮部と、ロスレス圧縮の圧縮データ量が閾値を上回るか否かを判定する圧縮判定部と、ロスレス圧縮の圧縮データ量が閾値を上回る場合は、画像データを非圧縮で記録媒体に記録し、それ以外の場合は、圧縮データを記録媒体に記録する記録部とを備える。この構成の電子カメラは、ロスレス圧縮後のデータ量が想定外に増える場合、圧縮データに代えて、データ量のほぼ安定した非圧縮データを記録する。その結果、圧縮データ量が想定外に増えて撮影結果を保存できなくなるというアクシデントを回避できる。

10045058.01502